

毎日くりかえし聞いていたので、口ぐせになつてみんな暗記してしまつていた。「ならぬことはならぬ」というのは、会津の武士たちがおとなになつても、命をかけて守りとおしてきた大切な心得こころえであつた。健次郎は、生涯しょうがいいつもこのことばを胸にきぎんで忘れなかつた。

会津戦争

健次郎は、九歳で日新館にっしんかんに入学することを許された。もともと学問が好きだつた健次郎は、一生しょうけんめいに勉強した。むずかしい中国の本を、次から次へと読んでいつた。学問がおもしろくてならなかつた。ふつうの人が十六歳で終わる初歩しょほの勉強を十四歳で終わってしまった。さらに上級の学問をめざして勉強をしているとき、会津戦争が起こつた。健次郎が十五歳のときである。